

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	波岸・鈴木・塚田
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3516・3531
<b>事務事業名</b>	4207 道路橋梁管理事業											
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
<b>施 策</b>	16033300 橋や道路整備の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	080201 土木費・道路橋梁費・道路橋梁総務費										
	<b>事業</b>	020000 道路橋梁管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
都市の基本的施設である道路、橋梁を的確に管理することは、安全で快適な市民生活を提供するうえで必須の条件である。						未登記処理について、予算の範囲内で努める						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
測量登記委託料 5,000,000円 道路台帳補正委託料 5,000,000円 法定外公共物管理システム補正業務委託1,300,000円 用地購入費 200,000円	
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		22,020	21,880
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	12	10
一般財源		22,008	21,870
人員数(人)	正規職員	4.9	2.5
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	34,143.2	17,420.0
	嘱託職員	314.9	314.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	34,458.1	17,734.9
市民一人当たりの経費		1.1	0.8
総額		56,478.1	39,614.9

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,959	光熱水費3,102、燃料費352、消耗品費502、修繕費3
12節 委託費	13,974	測量図作成委託料7,230、道路台帳補正委託料等5,457、法定外公共物システム補正業務委託1,287
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,087	報酬等2,577、旅費6、保険料944、手数料412、通信費75、使用料58、自動車重量税15

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,302	光熱水費3,417、燃料費342、消耗品513、修繕費30
12節 委託費	12,800	測量図作成委託料5,000 道路台帳補正委託料等6,500、法定外公共物システム補正業務委託1,300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,778	報酬等2,677、旅費10、保険料1,004、手数料621、通信運搬費75、使用料160、用地購入費200、自動車重量税31

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	道路改良や民間の宅地造成等による道路について、道路台帳を整備して管理する	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	未登記道路の解消に努める	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	道路台帳を整備することで、道路の維持管理の効率性が向上する	

振り返り（決算年度の取組み課題）
道路台帳の整備、未登記道路の解消を行っていきたい

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
道路環境の整備を図るためにも、道路・橋梁等の適切な維持管理を行う。		都市の基本的施設である、道路橋梁等を適切に管理する必要がある。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	